



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月11日

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所 東
 コード番号 8254 URL http://www.saikaya.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 岡本 洋三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 堀江 肇 (TEL) 046 (845) 6803
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績 (平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	9,619	△2.5	△20	—	△88	—	△98	—
30年2月期第2四半期	9,867	△6.9	△6	—	△64	—	△67	—

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 △98百万円(—%) 30年2月期第2四半期 △84百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	△31.45	—
30年2月期第2四半期	△21.73	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2. 平成29年9月1日付で普通株式10株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	11,738	1,449	12.4
30年2月期	11,958	1,548	13.0

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 1,449百万円 30年2月期 1,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	—	—	0.00	0.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想 (平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,770	△0.4	15	—	△110	—	△100	—	△32.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	3,135,314株	30年2月期	3,135,314株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	15,029株	30年2月期	14,930株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	3,120,310株	30年2月期2Q	3,120,889株

平成29年9月1日付で普通株式10株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	10
(1) 連結売上高の内訳	10
(2) 店別売上高(単体)	10
(3) 商品別売上高(単体)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年3月1日～平成30年8月31日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いており、雇用・所得環境も着実に改善しております。また、個人消費については、総じてみれば持ち直しの動きがあり、緩やかな回復基調が続いております。

百貨店業界におきましては、主力の衣料品のクリアランス前倒し効果や気温の上昇による季節需要の高まりなどで好調に推移しましたが、7月に入り西日本豪雨をはじめ、連日の猛暑、台風12号の上陸などの異常気象もあり減退しておりますが、大都市圏は高額消費とインバウンドが引き続き好調に推移し回復傾向にある一方、地方では依然厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社におきましては、平成30年2月期を初年度とする3年間の新中期経営計画を策定し、「営業力の強化」、「CS徹底の推進」、「財務基盤の強化」の3つの基本戦略に対応するための施策実行に全社を挙げて取り組んでまいりました。

「営業力の強化」におきましては、平成30年6月1日付で組織変更をおこない「営業企画部」を新設、営業に関する方針・計画の立案推進機能を一元化し施策推進のスピードを向上させました。更に、商販分離を明確にし商品調達力、店頭販売力を強化する体制を整備、外商部を店舗より独立させ増員もはかるなどの組織変更を平成30年9月1日付でおこない、下期も引き続き「営業力の強化」に取り組んでまいります。また、基幹店の藤沢店では6月に新規13ショップをオープンしたことや、前年のリニューアルの効果が来店客数の増加や収益の下支えとなり、第2四半期累計期間の売上高が前年同期を上回るなど、これまで実施した諸施策の効果が出てきております。しかしながら、当社全体では中元需要の低迷に加え、連日の猛暑や台風の影響も受けたことから、全店舗で予測した売上高を下回る結果となりました。

「CS徹底の推進」におきましては、平成29年7月に立ち上げた全社的なCSプロジェクトを成功させるため、全社一丸となって引き続き取り組んでおります。

一方、財務基盤の強化におきましては、ローコストオペレーションを推進し効果的な経費運用に引き続き取り組んだ結果、計画内の着地となり、引き続き各種経費の削減に努めるとともに、効果的な経費運用に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、上記の各施策をおこないましたが、販売収益の計画値未達を埋めきれず、売上高は9,619百万円（前年同期比97.5%）、営業損失20百万円（前年同期は営業損失6百万円）、経常損失88百万円（前年同期は経常損失64百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失98百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失67百万円）と当初予想を下回る結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産については11,738百万円となり、前連結会計年度末に比べ219百万円減少しました。負債については、前連結会計年度末に比べて120百万円減少し10,288百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べて98百万円減少し1,449百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ134百万円減少し520百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、55百万円の支出（前年同期は111百万円の収入）となりました。主な増加項目は、減価償却費199百万円等であり、主な減少項目は、税金等調整前四半期純損失98百万円、未払消費税等の減少額82百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、125百万円の支出（前年同期は211百万円の収入）となりました。主な減少項目は、長期前払費用の取得による支出93百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、46百万円の収入（前年同期は355百万円の支出）となりました。主な増加項目は短期借入金の純増額300百万円等であり、主な減少項目は、長期借入金の返済による支出194百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、平成30年4月12日に公表いたしました平成31年2月期通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	655,188	520,845
売掛金	447,953	469,658
商品	618,951	612,762
貯蔵品	41,658	40,041
その他	161,768	161,339
流動資産合計	1,925,520	1,804,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,517,038	3,376,932
土地	4,563,792	4,563,792
リース資産(純額)	87,657	65,198
その他(純額)	21,508	20,243
有形固定資産合計	8,189,997	8,026,167
無形固定資産		
その他	32,858	21,180
無形固定資産合計	32,858	21,180
投資その他の資産		
投資有価証券	378,348	369,699
敷金及び保証金	979,726	972,451
破産更生債権等	13,121	12,744
長期前払費用	389,146	482,641
その他	61,970	61,970
貸倒引当金	△12,450	△12,580
投資その他の資産合計	1,809,862	1,886,927
固定資産合計	10,032,719	9,934,275
資産合計	11,958,239	11,738,924

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	34,461	28,777
買掛金	1,418,108	1,471,707
短期借入金	250,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	424,300	244,770
未払法人税等	19,415	12,160
商品券	696,615	690,372
賞与引当金	38,039	38,784
商品券回収損引当金	660,647	659,745
ポイント引当金	30,842	38,353
その他	840,006	568,385
流動負債合計	4,412,434	4,303,056
固定負債		
長期借入金	5,009,729	4,994,879
繰延税金負債	157,057	152,327
退職給付に係る負債	397,712	415,014
資産除去債務	149,370	150,859
リース債務	25,217	15,029
その他	257,824	257,824
固定負債合計	5,996,912	5,985,937
負債合計	10,409,346	10,288,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,945,290	1,945,290
資本剰余金	1,637,078	1,637,078
利益剰余金	△2,041,194	△2,139,339
自己株式	△42,909	△42,955
株主資本合計	1,498,265	1,400,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,627	49,855
その他の包括利益累計額合計	50,627	49,855
純資産合計	1,548,892	1,449,930
負債純資産合計	11,958,239	11,738,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	9,867,611	9,619,703
売上原価	7,753,373	7,558,349
売上総利益	2,114,237	2,061,354
販売費及び一般管理費	2,120,515	2,082,306
営業損失(△)	△6,277	△20,952
営業外収益		
受取利息	242	72
受取配当金	2,417	2,609
商品券等整理益	4,358	—
その他	7,372	2,061
営業外収益合計	14,390	4,744
営業外費用		
支払利息	61,504	58,348
その他	11,548	14,359
営業外費用合計	73,052	72,708
経常損失(△)	△64,940	△88,916
特別損失		
固定資産除却損	2,190	2,043
投資有価証券評価損	—	8,023
特別損失合計	2,190	10,066
税金等調整前四半期純損失(△)	△67,131	△98,982
法人税、住民税及び事業税	5,098	3,551
法人税等調整額	△4,421	△4,389
法人税等合計	676	△837
四半期純損失(△)	△67,808	△98,144
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△67,808	△98,144

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純損失(△)	△67,808	△98,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,250	△771
その他の包括利益合計	△16,250	△771
四半期包括利益	△84,058	△98,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84,058	△98,916
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△67,131	△98,982
減価償却費	201,913	199,700
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△870	130
賞与引当金の増減額(△は減少)	△108	745
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,291	17,302
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	8,627	△902
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,249	7,511
受取利息及び受取配当金	△2,659	△2,682
支払利息	61,504	58,348
投資有価証券評価損益(△は益)	—	8,023
固定資産除却損	2,190	2,043
売上債権の増減額(△は増加)	△16,630	△21,705
たな卸資産の増減額(△は増加)	77,774	7,806
仕入債務の増減額(△は減少)	44,525	47,915
未払消費税等の増減額(△は減少)	113,201	△82,206
未払費用の増減額(△は減少)	△83,121	△6,071
商品券の増減額(△は減少)	△19,985	△6,242
その他	△154,479	△122,220
小計	175,290	8,513
利息及び配当金の受取額	2,659	2,682
利息の支払額	△62,054	△58,761
法人税等の支払額	△5,809	△7,932
法人税等の還付額	1,806	166
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,892	△55,330
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	70,000	—
有形固定資産の取得による支出	△335,125	△38,614
無形固定資産の取得による支出	△2,100	△657
投資有価証券の取得による支出	△467	△486
差入保証金の差入による支出	△187	△9,000
差入保証金の回収による収入	572,912	16,275
長期前払費用の取得による支出	△93,494	△93,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	211,536	△125,977
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	300,000
長期借入れによる収入	348,464	—
長期借入金の返済による支出	△542,844	△194,380
リース債務の返済による支出	△60,818	△58,608
その他	△151	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△355,350	46,965
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△31,921	△134,342
現金及び現金同等物の期首残高	585,115	655,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	553,193	520,845

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 連結売上高の内訳

	前第2四半期 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)		当第2四半期 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	9,855,072	95.6	9,610,654	95.7	△244,418	97.5
アルファトレンド㈱	448,796	4.3	422,175	4.2	△26,621	94.1
㈱さいか屋友の会	8,242	0.1	7,784	0.1	△457	94.4
小計	10,312,111	100.0	10,040,614	100.0	△271,497	97.4
内部売上高の消去	△444,500	—	△420,910	—	23,590	—
合計	9,867,611	—	9,619,703	—	△247,907	97.5

(2) 店別売上高(単体)

	前第2四半期 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)		当第2四半期 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	5,237,050	54.6	5,283,821	56.6	46,771	100.9
横須賀店	3,810,814	39.7	3,526,135	37.8	△284,679	92.5
川崎店	515,541	5.4	508,783	5.4	△6,758	98.7
町田ジョルナ	34,451	0.3	22,620	0.2	△11,830	65.7
小計	9,597,857	100.0	9,341,360	100.0	△256,497	97.3
テナント及び手数料収入	257,214	—	269,293	—	12,078	104.7
合計	9,855,072	—	9,610,654	—	△244,418	97.5

(3) 商品別売上高(単体)

	前第2四半期 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)		当第2四半期 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)		前年対比・増減	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
衣料品	2,497,582	26.0	2,453,083	26.2	△44,499	98.2
身回品	921,460	9.6	912,092	9.8	△9,368	99.0
雑貨	1,714,623	17.9	1,632,068	17.5	△82,555	95.2
家庭用品	241,713	2.5	242,709	2.6	996	100.4
食料品	3,671,429	38.3	3,594,411	38.5	△77,017	97.9
食堂・喫茶	244,768	2.5	241,511	2.6	△3,256	98.7
その他	306,281	3.2	265,485	2.8	△40,796	86.7
合計	9,597,857	100.0	9,341,360	100.0	△256,497	97.3